

2019(平成31)年度 エリザベト音楽大学事業計画

学生と教職員による充実した学び合いの学修環境の構築

2018年度の創立70周年の一連の記念行事及び記念演奏会については、すべて滞りなく終えることができました。2019年度は創立75周年、そして80周年に向けての新たな取組みを開始する年となります。

本学は創立以来、建学の精神、教育理念の実現のために、カトリシズムの精神、とりわけイエズス会教育を基盤にすえた音楽芸術の教育・研究を行ってきました。今後も国際平和文化都市広島における独自の役割を果たすべく、大学運営をさらに充実させます。

大学経営の根幹は学生募集です。2019年度も学生募集に関する計画を緻密に立案し、教職員が一丸となり連携・協力しつつ実施します。

セシリアホール(1号館)は本年開館40周年を迎えます。2016年度に策定した長期計画に基づき、学生の学びを着実にサポートするべく、学内各施設の補修及び維持管理について立案し実行します。

(1)経営面の計画

①建学の精神、教育理念の実現のために

- ・イエズス会教育方針に関する研修を実施する。
- ・学生・教職員がアジアの恵まれない地域のイエズス会学校を視察し、演奏をとおした交流を行う。
- ・研修会、各種事業により建学の精神、教育理念の理解を深め、その実現に努める。

②学生数確保・入学定員維持への取組み

- ・募集活動に関する他大学の成功事例を研究し、教職協働により取り組む。
- ・国による新たな奨学金制度に対応した、本学独自の奨学金の検討を行う。
- ・教職員一人ひとりが募集活動に取組み、着実に成果をあげるよう連携して行う。

③中長期計画に沿った将来計画の策定

- ・中長期計画に沿った施設・設備補修計画の修正計画を立案する。
- ・中長期計画に沿った財政計画の修正を実施し、最善の方策を追求する。
- ・西条キャンパスの在り方について、地元自治体との協議を経て決定する。

④国際交流の推進

- ・海外の交流協定校を増やし、学生の学修の動機づけを高める。
- ・海外の交流協定校との連携事業を推進する。

(2)教学面の計画

①教学改革について

〔学部〕

- ・複数の授業支援ツールを一本化することにより、学生や教職員がシステムをより理解し利用しやすい環境をつくり作業の効率化を図る。
- ・新たにスマートフォン向けのアプリを導入することにより、学生が授業支援ツールにアクセスしやすい環境を構築する。
- ・教育課程全体について、時代及び学生のニーズに合わせたものにするべく検討を行う。

〔音楽文化学科〕

音楽文化専修

- ・新しく開講予定の「基礎演習」の授業内容を検討する(学科内で連携をとって進める)。
- ・各領域の連携を深め、柔軟な個人指導体制に取り組む。

- ・進学説明会の際に、学生の活動紹介を含める等の専修の紹介を含め、入学志願者増加を目指す。
- ・夏期・冬期受験講習会の期間中に、音楽文化学科の学びを紹介するオープンゼミナールを開催し、入学志願者増加を目指す。

幼児音楽教育専修

- ・音楽大学の幼児音楽教育にふさわしい音楽的能力と教育理論の融合を目指して、幼児期の音楽教育に必要な「動きと音楽」をテーマとし、多角的な視点から学生の指導に取り組む。
- ・幼児、親子を対象とした社会貢献活動として音楽を楽しむ場を提供する。

音楽コミュニケーションデザイン専修

- ・自治体等との社会貢献連携事業を充実させる。
- ・広島県・広島市、東広島市との連携事業の企画制作に協力する。
- ・「NPO法人 心豊かな家庭環境をつくる広島21」との連携事業(子ども夢コンサートプロジェクト)を実施する。
- ・三景園の季節ごとのコンサートに協力する。

〔演奏学科〕

- ・2018年度に引き続き、定期演奏会、エリザベトコンサートなど年間を通じて教員全員が参加するとともに、プログラムに旧師の作品を取入れることにより演奏会の充実を図る。
- ・AO特別奨学生が卒業後も演奏活動等で活躍できるよう、指導体制を強化する。
- ・新任教員を含め演奏学科教員の演奏活動を後押ししていくことにより入学志願者増加につなげる。
- ・現代の受験生が望む大学像を追究し、それに応える学士課程教育を検討する。
- ・エリザベトでしかできないこととは何かを考え、本学の独自性を追求する。
- ・受験生増加のため、入試内容を見直す。
- ・奨学生をAO特別以外にも増やし、やる気のある学生を支援するシステムを構築する。

〔大学院〕

- ・海外(フィリピン・中国)での留学生入学試験を実施し、海外からの留学生を確保する。
- ・魅力ある修士課程・博士後期課程とするための課題と改善策を検討する。
- ・AO特別奨学生制度開始以来、見直しができていない大学院のカリキュラムを、学部との連携も考えながら見直す。
- ・国内外から著名な演奏家を招き、公開講座・公開レッスンを実施する。
- ・海外の協定校(フィリピン・中国等)との交流活動を実施する。

②学生生活支援について

〔学生生活〕

- ・学生の人的成長と自立を促すため、各種行事を実施し、学生主催行事を支援する。
- ・生活面で課題を抱えた学生や障がいのある学生については、状況を把握し、必要に応じ各部署と連携して支援を進める。
- ・学修面で悩みを抱えた学生については個別面談等を行い、具体的対応を講じる。

〔就職・進学サポート〕

- ・学生一人ひとりの卒業、修了後の進路について、学生生活センター室長、教養・教職主事、キャリア支援室長、学生生活担当職員、キャリアサポート委員会が連携して支援を行う。
- ・卒業、修了後の進路は、音楽大学の特徴を活かして、教職、音楽関係、一般企業、進学、留学など幅広い分野で支援できるよう体制を整える。
- ・進路オリエンテーション、就職ガイダンス等を計画的に実施し、学生が年間をとおして参加しやすい工夫をする。
- ・キャリア支援のための個別面談機会を増やし、特に貸与型奨学金受給学生及び学資ローン利用学生への進路指導を強化する。

③国内及び国際交流

〔国内交流〕

- ・上智大学との交流事業(学生の国内留学、交換教員企画)を継続する。
- ・くらしき作陽大学との交流協定に基づく「ESpoir新人演奏会」を開催する。
- ・学外における留学生支援イベント等での留学生の演奏活動を支援する。

〔国際交流〕

- ・4月14日、広島県の四川省友好締結35周年記念事業として本学で開催される交流会で、本学学生が演奏を行う。
- ・5月3日、「大邱(テグ)の日」として日韓親善協会及び広島市平和文化センターが主催するフラワーフェスティバルのセレモニーで、本学学生及び韓国人留学生が演奏を行う。
- ・8月に韓国、西江(ソガン)大学で開催されるASEACCU(東南・東アジアカトリック大学連盟)総会及び学生会議へ、本学学生及び教職員が参加する。

〔国外交流協定校との交流事業〕

- ・フライブルク音楽大学(ドイツ)と交流協定を締結する(6月)。
- ・四川音楽学院(中国)におけるマスタークラスレッスン、入学試験を実施する(6月)。
- ・サント・トマス大学(フィリピン)におけるマスタークラスレッスン、入学試験を実施する(6月)。
- ・ヴェルディ音楽院(イタリア)と交流協定を締結し、ピアノマスタークラスを実施する(9月)。
- ・アジアのイエズス会学校における支援コンサートを、国内外のイエズス会員と連携して企画し、年間1つないし2つの計画の実現に努める。

④学生募集活動及び広報活動について

〔学生募集活動について〕

- ・教職員による様々なチャンネルからの情報収集を行う。高校訪問、レスナー訪問、出前授業、高校内進路ガイダンス、楽器別セミナー、ネット媒体、各種イベント・コンクールなどから鮮度の高い情報を収集する。
- ・進学ガイダンス・大学説明会について規模を拡大し、学生募集活動を強化する。従来の開催地だけでなくエリアを広げ、より多くの都市で開催し、大学のPRと情報収集活動に注力する。ガイダンスは岡山、下関、防府、福山、松山、福岡で、大学説明会は松江、佐賀、佐世保、熊本、大分、宮崎、鹿児島、高松で実施する。
- ・オープンキャンパスを年3回(6月・7月・8月)実施する。
- ・学内授業公開を実施する(10月)。
- ・ホール体験企画(演奏体験・アンサンブル体験)を実施する(12月)。
- ・スプリングフェスティバルを実施する(2020年3月)。
- ・志願者(受験見込み者)に対し実際の受験に向けてきめ細かく対応する。

〔広報活動について〕

- ・情報伝達ツール(大学案内、エリザベトアイなど)の作成と配布により大学の魅力を伝える。
- ・時代に対応した情報伝達媒体(ホームページ、各種SNSなど)を活用する。
- ・外部団体との良好な関係構築や深化により大学の魅力発信と情報収集を図る。
(広島県合唱連盟、全日本ピアノ指導者協会、全日本吹奏楽連盟など)
- ・連携協定先を含む各種団体等の主催イベントに積極的に協力する。
(シヤレオ大学生コンサート、市役所コンサート、県立美術館コンサートなど)

⑤教職員研修(SD・FD)について

- ・SD・FDについて、ゴーセンス記念講演研修会(4月)、教職員研修会(9月)ほかの研修計画を立案・実施する。
- ・教職員を学外の多様な研修会へ参加させ、そのフィードバックを共有することにより研修の成果を業務に生かす。
- ・自己点検・FD運営委員会活動では授業参観をはじめとして、FD活動をより活性化させる。

⑥創立75周年記念宗教合唱曲集刊行に向けて

- ・これまで委嘱した国内外の作曲家による宗教合唱曲の集大成を目指し、創立75周年記念宗教合唱曲集刊行につなげる。(継続事業)

⑦演奏活動

2019年度エリザベト音楽大学コンサートスケジュール

日程	演奏会名・行事名・会場・出演者
4/13(土)	(エリザベト音楽大学・くらしき作陽大学 大学間包括交流協定事業) 第2回ESpoir新人演奏会(セシリアホール) 出演:エリザベト音楽大学、くらしき作陽大学・短期大学の新卒者
6/28(金)	エリザベト音楽大学コンサートシリーズ 本学教員による演奏会(セシリアホール) 作曲:川上 統 ピアノ:久保千尋 戸梶美穂 フルート:森川久美 クラリネット:品川英世
9/20(金) 予定	秋季大学院新人演奏会(セシリアホール) 出演:秋季修了生から選抜
10/1(火)	セシリアホール開館40周年記念演奏会(仮) オルガン:福原詩織 佐々木悠 桑山彩子 吉田仁美
10/19(土)	第78回定期演奏会(セシリアホール) 声楽ソロ:オーディションによる選抜学生 指揮:柴田真郁 演奏:エリザベト音楽大学合唱団・交響楽団
11/8(金)	エリザベト音楽大学コンサートシリーズ マーティン・ヒューズ客員教授ピアノリサイタル(セシリアホール) ピアノ:マーティン・ヒューズ(客員教授)
12/12(水)	チャリティークリスマスコンサート(セシリアホール) 指揮:寺沢 希 ピアノ:スティーブ・ドブロゴス 演奏:エリザベト音楽大学合唱団・器楽アンサンブル・フルートオーケストラ
3/5(木) 予定	春季大学院新人演奏会(セシリアホール) 出演:春季修了生から選抜
3/8(日)	卒業研究発表・演奏会 音楽文化学科(ザビエルホール) 出演:卒業生から選抜 卒業演奏会 演奏学科(セシリアホール) 出演:卒業生から選抜

(3)管理面の計画

①施設設備改修と建物長期計画の検討について

- ・2号館の改修(空調設備更新・外壁補修)を行う。
- ・空調設備改修がほぼ終了する2019年度末までに建物の更新計画を立案する。

②委託業務(清掃、寮管理、西条管理、その他)について

- ・業務内容の検証評価と再検討を行う。

③西条キャンパスの将来計画(土地、建物、設備)について

- ・西条キャンパスの在り方や活用について、地元自治体等と協議する。

④女子学生寮(セシリアホーム)の管理運営について

- ・施設設備や食事の内容等の充実により寮生満足度を向上させ、かつ学生生活上の指導・支援により寮生活の質向上を図る。
- ・委託業者による寮母教育の徹底と食事内容の改善と充実を実現する。

⑤付属音楽園・エクステンションセンター事業について

- ・園生獲得の取組みを継続する。
- ・受講生が見込めるエクステンションセンター講座を開発する。

⑥財務について

- ・1号館(セシリアホール)・本館の建替えに向けて、基本金積立の原資の確保に努める。
- ・経常収支差額の確保のため、教育活動収支における赤字の削減を図る。

以上